

講演 「活動の楽しみ」



Fumiyo Makino

牧野ふみよさん：グリーンアドバイザー。「花が好き」で園芸店スタッフも経験。「花が好きで花に集まってくる人のほうが好き」と気が付き、「NPO 法人大田・花とみどりのまちづくり」では駅前花壇の維持管理など、「NPO 法人 Green Works」では主に「コミュニティガーデン」活動を通して、皆さんをつなげる活動をしています。

生物多様性を高めていくためには、活動の継続も大切です。そこで、コミュニティガーデンの運営等を通じ、ネットワークづくりに取り組んでいる牧野ふみよさんに、ユニークで様々な活動の「広げ方」について、お話を伺いました。

活動を楽しんでいる皆さんの「笑顔」を楽しんでいます

速く行きたいなら、ひとりで。
遠くへ行きたいなら、みんなで。

大岡山駅前

きっかけ／草ぼうぼうだった駅前。「どうにかしたい」と町会や商店街の方からの相談を受け、「みんなで楽しんで花壇を作ろう」と始めました。宿根草をベースに、一年草で彩る花壇づくりをしています。

子どもたちも参加／商店街からの呼びかけで、地元の中学校も参加しています。植替え時には、路上の「ぷちワークショップ」で意見を募集。はがき大の段ボールにハート型などのふせんを

貼り「皆さんの意見を教えてね」と配り、書いた子から順にお茶とお菓子をもらえる仕組みです。「鳥やチョウなど生きものも喜ぶ花壇がいい」という意見も出て、チョウがやってくるような木や花を植えています。「みんながやりたいこと」が花壇づくりで実現できていることが、活動の励みになっています。

地域に愛される花壇に／「みんなで地域の庭をつくると、いいことがいっぱい。」つまり景観が美しくなり、地域に役立つ実感、愛着を持つようになります。

ます。地域の皆さんも防災・安全安心の観点で、積極的に参加されます。花や自然が好きな人間としては、こういう活動をきっかけに環境や自然、生きものに興味を持ってくれると嬉しいなど思っています。



「ぷちワークショップ」でハート型ふせんにみんなの意見をもらいます

企業との協働プロジェクト

ハーブのコミュニティガーデン／みんなで育てたハーブを摘んでクラフトを作って売り、売上をチャリティーに。参加すると、楽しみながら社会貢献できるプログラムとして展開しています。ラベンダーは、摘むのが案外と大変なので、地域の方も集まってもらって「ラベンダーまつり」を毎年やっています。

ランチタイムガーデニング／芝公園で、生物多様性に貢献できる取り組みをできないか？」と企業から相談を受け、「会社のお昼休みに公園で活動しませんか」と呼びかけて、主に外来種の除草を行っています。年7回、毎回50人以上の参加があります。今はチョウなど虫たちもたくさん飛んできて、秋には鳴く虫も来るようになりました。



一般の人に分かりやすいパンフレットを渡し、作業してもらう「ネイチャーエストin芝公園」。テーマは「蜜源植物」や「選択的除草」など

世田谷生きもの会議 分会

午前の部 生きものモニタリング試行

スマートフォンで写真を撮り投稿すると、種の同定と情報共有ができるアプリ「iNaturalist」を活用し、世田谷区独自のプロジェクトサイト「世田谷生きものモニタリング」を立ち上げて試行しました。スマートホンのOS別にアプリを解説して頂き、その後、祖師谷三丁目公園で30分ほど生きものを観察・投稿しました。会場に戻り、観察記録を共有し、同定の方法など分かりやすく教えて頂きました。「日本は固有種が多いので、みんなでAIを賢く育てていきましょう」と講師の小堀先生からお話がありました。



花や葉のアップ、木の姿など3枚の違う構図の写真を撮ることで同定しやすくなります。



投稿した生きものがアプリでどのように共有されるのか、興味津々です。

生きものつながる世田谷プラン リーディングプロジェクト

世田谷生きもの会議

NEWS

第3号 2020.03

発行：世田谷区みどり33推進担当部みどり政策課 〒154-8504 世田谷区世田谷 4-21-27 電話 03-5432-2282

令和元年度 「世田谷生きもの会議」を開催しました



2020.01.27

2020年1月27日(月)成城ホールにて「世田谷生きもの会議」を開催しました。区内で生物多様性に配慮した場づくりをしている団体の皆さんが情報を共有し、連携して活動できる場を目指し、当日は13団体21名の参加がありました。

世田谷生きもの会議 分会

午前の部 生きものモニタリング試行

- ・生きもの写真の撮影とアプリの投稿方法 …成城ホール集会室 B
- ・観察・投稿 …祖師谷三丁目公園 → 調査結果のシェアと同定方法の説明

●講師：小堀 洋美先生 <東京都市大学特別教授・(一社)生物多様性アカデミー代表理事・農学博士>
戸金 大さん <東京都市大学特別研究員> 岸本慧大さん <(一社)生物多様性アカデミー研究員>



午後の部 世田谷生きもの会議 …成城ホール集会室 E

- ・生きもの会議 取り組み報告 …これまでの「生きもの会議」ふり振り返り
- ・活動情報のご紹介 ①船橋小径の会 …学校と大切にする地域の生物多様性 ②野川(世田谷区部)の多自然川づくりを考える連絡会 …アレチウリその後
- ・講演「活動の楽しみ」 牧野ふみよさん <NPO 法人 GreenWorks>
- ・テーマ討議 ~今後取り組むプロジェクトを考えよう~
→ 発表・共有・まとめ



「世田谷生きもの会議」開催の経緯

「生きものつながる世田谷プラン」の策定にあたっては、生物多様性に配慮した活動をされている多くの方々からご意見をいただき、活動団体同士の連携や、知識・ノウハウの共有、現場のマンパワーなどが課題として挙げられました。こういったご意見を受け、皆さんの活動に役立てられる場として、「生きもの会議」を立ち上げました。

「世田谷生きもの会議」が将来、目指す姿(イメージ)



区内では、様々な団体が生物多様性を考えながら活動しています。今回の会議では、2団体からご紹介をいただきました。

地元の高校と大切にする「小径」の生物多様性

「船橋小径の会」

● 経緯
「船橋小径」の半分は都立千歳丘高等学校と隣接しています。生徒たちは、これまで清掃活動として街なかのゴミ拾い等をしていましたが、隣接したこの小径の活動に目を向けてくれました。単発的な活動を重ねる中で、昨年度、学校のほうから、定期的に小径の作業に参加することの申し出がありました。授業「人間と社会」の一環として実施して2年目になります。



通信「こみち」



高校生もいっしょに作業

● 枯れ枝を積み上げて、生きものの巣づくり
「どうしたら生きものが棲みやすくなるんだろう？」と考えながら作業してもらっています。原則として、1グループ生徒10名に先生1名がついて作業します。

若いパワーは素晴らしく、30分で5本も杭が打ち込めました。生徒たちも「これは俺たちがやったぜ」と達成感を感じてくれたようです。これからもこのような力仕事をお願いできると良いと思います。

● 作業日誌
日時・クラス・人数や作業内容（草丈の切り詰め・落ち葉拾い・歩く部分の石拾い・杭やロープの様子など）も生徒が記録します。

● 先生から届いた、嬉しいお知らせ
「人間と社会」の中で、各々が捉えた課題をレポートする授業があり、一人の生徒から「船橋小径」についての発表があったそうです。「船橋小径」についてホームページなどからも情報を集め、「学校の近くに、こんな大切な土の道がある。いろんな生物がいて、生物多様性にとっても大切だし、このまま残していきたい。」学校からは、今後も継続して活動したいとお話しいただいています。

● 杭の交換を提案
力仕事のため更新を躊躇していたロープ柵。グラグラしている様子を見た生徒が「僕たちには力があります！」と杭打ち作業を提案してくれました。

アレチウリ大作戦 5/25 実施報告！

「野川(世田谷区部)の多自然川づくりを考える連絡会」

● 「アレチウリ」その後
昨年の「生きもの会議」で駆除のコツなど報告した「アレチウリ」ですが、会の猛烈なメンバー1人が、小田急の高架から谷戸橋のところのアレチウリを、ほぼ駆除。埋土種子から出たものを駆除する次のステップに入っています。2週間に1回パトロールして抜いてくれる彼女の頑張りで、アレチウリの姿はほぼ無く、当日は「オオブタクサ」等を駆除しました。



オオブタクサ



しなびた様子



どんどんビニール袋へ入れます

● 当日、作業の様子
大学等でも広報し、どのくらい参加があるか期待の当日は、なんと予想最高気温 30 度。嬉しいことに高校生が1人、自転車をこぎこぎ、来てくれました。オオブタクサ等を片っ端から抜き、ゴミ袋へ。暑い日で、あっという間にしなびて、かさが減りました。出たゴミは、45 リットル袋で10袋ぐらい。リヤカーを借りて運びました。

● R 元年度の外来種除去活動
4～9月は週1回、10～12月は2週間に1回の実施。また、行政の委託業者による草刈りが5～11月に右岸左岸で1～3回あり、刈り方や刈った草の処分などの点で、対応が必要なのが課題となりました。

● 今後、気になる外来種
ワルナスビ(増加)、アメリカナシカズラ(新規参入)、オオカワヂシャ・セイタカアワダチソウ(生育多数)等。今季はイベントとして駆除するほどではないですが、頻りに回っています。ぜひ一緒にやりましょう。

テーマ討議

今後取り組むプロジェクトを考えよう

どんなふうに進めていきたいか、時期の目安
遅くとも良・ゆるやかに・程よく・なるべく早く・
すぐ！・余力あれば の中から選びました

昨年度に出たさまざまな意見を、大きく6つのテーマに分類し、そのテーマごとに、今後やってみようと思うプロジェクトを話し合いました。

当日皆さんが書いたシート▼

テーマ1

みどりや生きものに関する情報共有
区内にどのような生きものがいるか、データをまとめる戦略づくり

idea of project **すぐ!**
区内の生物の基礎データを集める仕組みづくり

contents

- 区内をメッシュに区切り、均一に情報を集める。
 - 利用できるように、基礎データを集める。
 - 環境別に、希少種や重要種を決め、区内での絶滅を防ぎ、多様性も高めていく。
 - 昆虫と植物を重点対象とする。
- point & task
- 大量の情報を整理できるか。同定も課題。



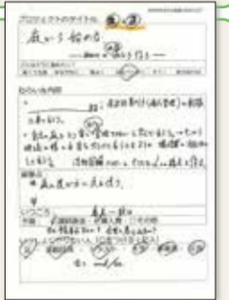
テーマ2

すそ野を広げる
取り組む人や団体を増やす

idea of project **なる早**
庭から始める
～初めての続けられるみどりづくり

contents

- まず1カ所の庭から始める。
 - 選択的除草(順応管理)の専門家に来てもらい、自分の庭を手軽に、すぐ管理できるかを学ぶ。
 - そこから地域の緑にも目を向けてもらう講座
- point & task
- どんな庭を選ぶか



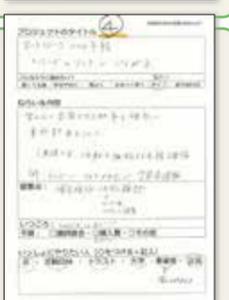
テーマ4

ネットワークを広げる
団体やフィールド同士の助け合い横の連携、団体間で材の有効活用

idea of project **すぐ!**
ネットワークづくり手段
～ハードとソフトでつながる

contents

- チッパー、イヤホンガイドなどの機材共有や学習会の情報など、ソフト面の共有
 - 各団体へ必要なもの・所有してるものをヒアリング。事業者からも社会貢献活動としてレンタルできると良い。
- point & task
- 優先順位、ルールづくり



テーマ5

広報手段
情報発信(SNSやブログほか)

idea of project **特になし**
#(ハッシュタグ)
せたがや生きもの会議

contents

- ウェブ上に、多くの人に関心を持つような場所、プラットフォームをつくる。(フェイスブック、ブログ、インスタグラム、ツイッター等を活用)
 - 生物多様性に関心のある人を増やす。若い世代、区内高校の生物部、趣味で生きもの写真をインスタグラムに掲載してる人とかも、環境の活動とつながる側面を持ってほしい。
- point & task
- 心配なことは、「炎上」



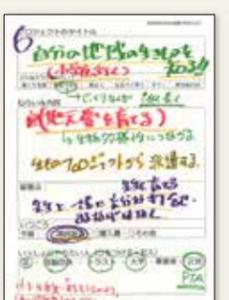
テーマ6

その他
外来種について
学校との連携

idea of project **細く長く**
自分の地域の生きものを知ろう!!
～小学校へ行こう!

contents

- 子どもたちの「地元愛」を育てることが、生物多様性につながる。
 - 今ある環境の問題も理解すると同時に、地元愛を持ってもらう。
 - 連携先は、大学・トラスト・活動団体・区・区民(特にPTA)。派遣講師の謝礼が必要。
- point & task
- 先生と十分に打ち合わせをし、一緒に考え取り組んでもらえるようにする。



当日の参加団体(団体名・五十音順): 砧・多摩川あそび村/成城三丁目緑地里山づくりコア会議/成城みつ池を育てる会/せたがや自然環境保全の会(SNECS)/世田谷すみればネット/せたがや野川の会/せたがや水辺デザインネットワーク/野川とハケの森の会/野川(世田谷区部)の多自然川づくりを考える連絡会/二子玉川公園ビジターセンター/船橋小径の会/三宿の森を育てる会/野鳥ボランティア